

## 平成28年度全国学力・学習状況調査（3年生で実施）の結果について

### ○本校の状況

- 2教科（国語・数学）とも、A（知識）とB（活用）の結果が、ほぼ一緒であるが、わずかにA（知識）がB（活用）より上回っている。
- 2教科（国語・数学）とも、選択式の問題は高い結果が出ているが、記述式の問題を苦手としている。
- 「授業でわからないことがあったときに、友達に教えてもらうことが多い」と回答している生徒が多いが、そのままにしている生徒もいる。
- 「自分の考えや意見を発表するのが得意」と回答している生徒が多い。学級会では話し合いでみんなで決めたり、折り合いをつけたりして意見をまとめている。また、「学級でみんなで協力をして何かをやり遂げ、うれしかった」とほとんどの生徒が回答している。
- 「将来の夢や目標を持っている」「失敗を恐れず挑戦している」「自分には、よいところがある」「地域社会などでボランティア活動に参加したことがある」と回答した生徒が多い。「人の役に立つ人間になりたい」と思う生徒が多い。
- 「家の手伝いをしている」と回答した生徒が多い。
- ゲームやメールをする時間、インターネットをする時間、テレビを見る時間が長い。読書はほとんどしていない。
- 「家で復習をしている」と回答した生徒が少なく、家庭学習の時間も短い。
- 生活習慣（朝食をとる、規則正しい生活）は身につけている生徒が多い。

### ○経年との比較

昨年度のデータとの比較すると

- 国語、数学とも、昨年より上がっている。特に数学の資料の活用力が伸びている。
- 生活習慣（朝食をとる、規則正しい生活）は、昨年よりやや向上した。
- 自尊感情や言語活動は、昨年と同程度である。
- 学習習慣と規範意識が昨年度より上がっている。

### ○今後の取り組み

- 2教科とも記述式の問題を苦手としているので、授業の中で書く機会を多くし、伝えたいことが的確に表現できるようにしていく。
- ワンデイワンページやK1の取り組みで、知識は定着しているが、活用できていない。身に付けた知識を生かして物事が考えられるような授業の工夫をする。
- 言語活動・読解力の良い状況が続いているので、今後も保っていきたい。生徒主導の行事運営や「ケアのある学び」の取り組み、写本の成果であると考えられる。今後も継続して取り組んでいく。
- 生活習慣は、昨年より向上しているなので、引き続き「早寝・早起き・朝ごはん」を推進していきたい。
- ゲームやメール、テレビを見る時間が多いため、家庭学習時間が少ない。毎日の学習を大切に、家庭学習の時間を確保する指導をする。

我孫子市立湖北中学校